

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 愛媛県 】

学校名【 東温市立西谷小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	1～6年生 39名(全校児童) 教職員 10名 計49名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名() ② 行事名(オリパラ事業(タグラグビー)) ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他()
4 目標 (ねらい)	スポーツの意義や価値に対する理解を深め、関心を高めるとともに、スポーツに主体的に取り組む意欲を高め、これからの社会に求められる資質、能力等の育成を図る。
5 取組内容	(1) 事前学習 校内テレビ放送を活用して、東京オリンピック大会でのラグビーの試合動画を放映し、ラグビーのルールや行い方などについて知った。また、ラグビーボールを貸していただき、休み時間などに投げたり捕ったりしてラグビーボールに触れた。 (2) 当日  愛媛県のスポーツ専門員の方などを招いて、全校でタグラグビーに取り組んだ。最初にタグ取り鬼ごっこをしてタグ取りに慣れ親しんだ後、ラグビーボールを使ってパス練習をした。



さらに、グループでランニングパスやディフェンスの練習をした。その際、自分より後ろにいる仲間にパスすることや、タグを取られるとそれ以上走ってはいけないことなどの基本的なルールを教えていただき、練習の中で実践することができた。



最後には、試合形式のゲームをした。パス回しやトライが上手にできた場面が多々あり、白熱した。子どもたちは短い時間の中でタグラグビーの面白さ・楽しさを実感することができた。

	  <p>さらに、グループでランニングパスやディフェンスの練習をした。その際、自分より後ろにいる仲間にパスすることや、タグを取られるとそれ以上走ってはいけないことなどの基本的なルールを教えていただき、練習の中で実践することができた。</p>   <p>最後には、試合形式のゲームをした。パス回しやトライが上手にできた場面が多々あり、白熱した。子どもたちは短い時間の中でタグラグビーの面白さ・楽しさを実感することができた。</p>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ タグラグビー（ラグビー）に対する子どもの興味・関心が高まった。事業後にはラグビーボールを寄贈していただき、休み時間にラグビーボールで遊ぶ児童の姿がよく見られた。
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小規模校の利点を生かして、全ての学年の児童が参加してタグラグビーに慣れ親しむことができたこと。 ○ 現役でラグビーに取り組んでいる選手（スポーツ専門員）と、愛媛県ラグビーフットボール協会に携わる職員の方々を招くことができたこと。 ○ 事前に動画を見るだけでなく、ラグビーボールに触れる機会も設けたこと。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動場の広さの関係で、コートを十分に確保することができなかった。児童同士が全力で走って交差する場面がよくあり、大きなけがはなかったが、打撲や擦り傷などのけがをした児童がいた。 ○ 時間の確保。今回は2時間構成でパスやディフェンス練習、そしてゲームを行った。もっとゲームの時間を確保することができれば、より深くタグラグビーに親しみ、興味・関心を高めることができるのではないかと考える。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>他競技に関しても、世界で活躍する（した）方や専門とされている方を招いて、指導や講演をしていただく活動に取り組みめられたらと考えている。</p>